

導入促進基本計画

1 先端設備等の導入の促進の目標

(1) 地域の人口構造、産業構造及び中小企業者の実態等

本市は、古くから商工業、農林水産業など各産業がバランス良く調和した県内第二位の人口規模のまちとして成長してきました。一方で、長期的に見ると人口の減少傾向が続き、令和12年には人口17万人を割り込むと推計され、少子高齢化が進展しています。工業では電子部品や鋳物などをはじめとする産業が盛んで、令和3年の製造品出荷額等は約5,497億円で島根県全体の約4割を占めています。また、出雲大社をはじめとする数多くの歴史的文化遺産が全国から注目されており、これらに関連する観光産業も盛んです。近年は、コロナ禍で交流人口が一時減少したものの、現在は、コロナ禍前の状況に戻りつつあるなど、経済のさらなる活性化に大きな可能性を持つまちです。

このような本市において、市内事業所の99.8%を占める中小企業・小規模企業（以下「市内中小・小規模企業」）は、本市の経済を支え、多くの雇用を生み、賑わいを創出し、地域に根ざした活動を行い、市民生活の向上に大きく寄与しており、本市の活性化にとって不可欠な担い手です。

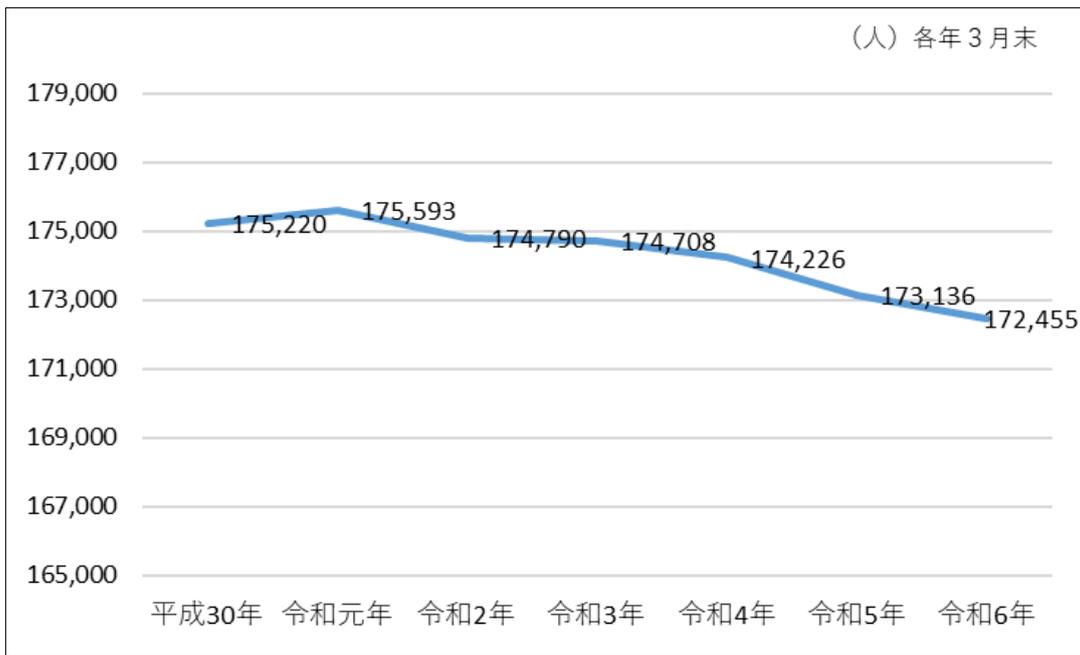
しかしながら、市内中小・小規模企業を取り巻く環境は、少子高齢化に伴う人口の減少や経済のグローバル化、IT(情報技術)の普及等の激しい変化により、人手不足、後継者不足など、事業活動に様々な課題が日々生じています。コロナ禍の影響は甚大であり、物価高騰等の社会情勢の中、この状況を放置すれば、市内中小・小規模企業の衰退を招き、ひいては本市の活力が大きく失われかねません。

こうした危機感が強まる中、本市は、平成29年3月16日に市内中小・小規模企業の振興を目的に「出雲市地場中小企業・小規模企業振興基本条例」を制定し、この度、令和5年度から令和9年度を計画期間として第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画を策定したところです。

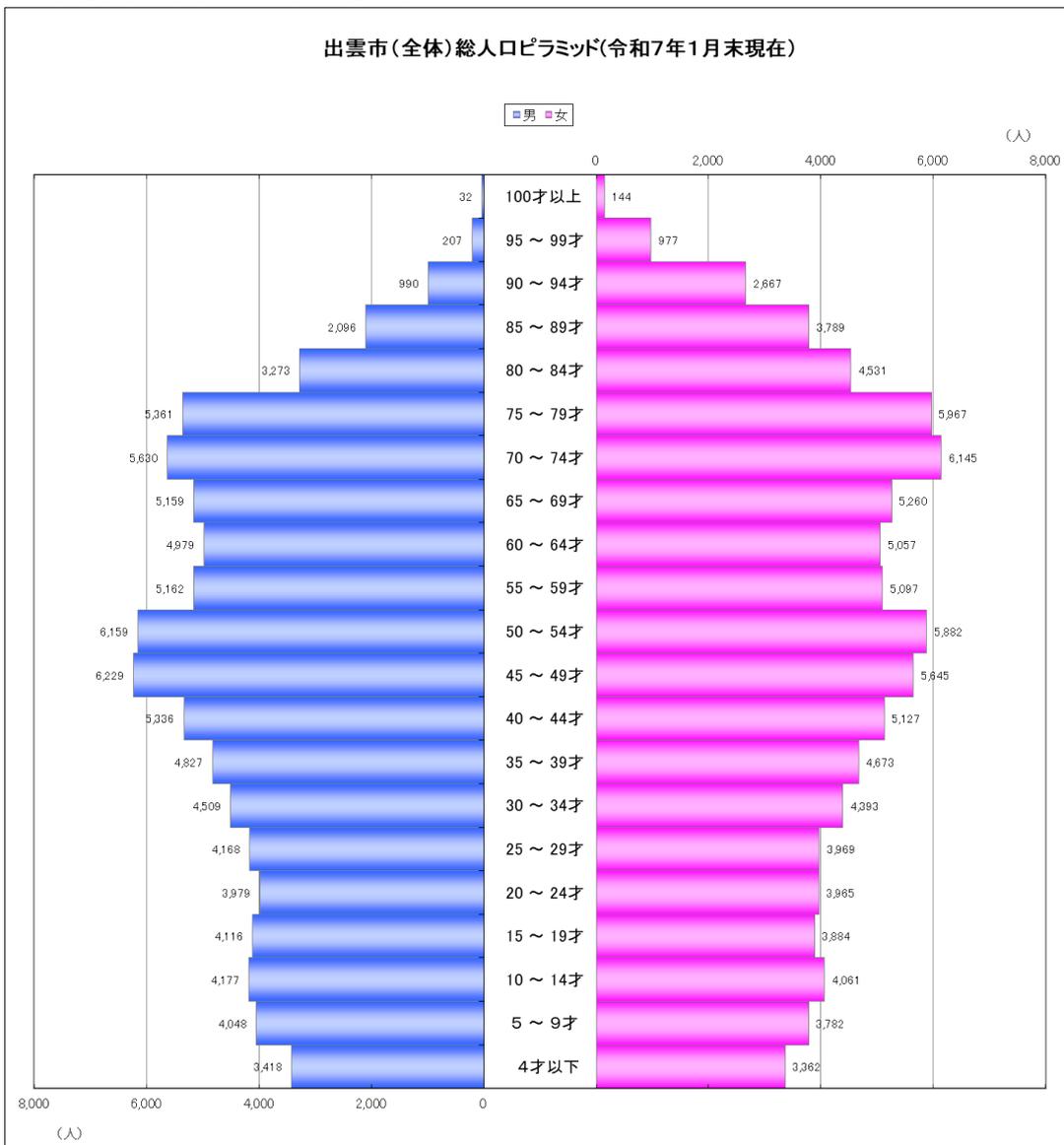
昨今の厳しい状況を乗り越えていくためには、市内中小・小規模企業自らが不断の経営改善・向上に努めるとともに、市、商工支援団体、金融機関、教育機関、市民は、市内中小・小規模企業の重要性を理解し、持続・発展を目指して頑張る市内中小・小規模企業を一体となって支援・協力していくことが必要です。

こうした認識のもと、市内中小・小規模企業をはじめとする企業の持続・発展を実現するためには、生産性を抜本的に向上させることが必要不可欠で、そのためには先端設備の導入を促すことが極めて有効です。

(図1：出雲市の人口の推移)



(図2：出雲市の総人口ピラミッド)



(2) 目標

中小企業等経営強化法第49条第1項の規定に基づく導入促進基本計画を策定し、中小企業者の先端設備等の導入を促すことで、県内で最も設備投資が活発な自治体の一つとなり、『出雲力^{*}で新時代をリードする元気な地方都市』として更に経済発展をしていくことを目指します。

この実現のため、本市は、第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画において、生産性の向上に向けたIT化等の推進、設備投資への支援を推進施策として定め、認定経営革新等支援機関と連携し、中小企業者等への情報提供など必要な支援を迅速に行う体制を整えることで先端設備等導入計画の積極的な策定を促します。これを実現するための目標として、計画期間中に60件程度の先端設備等導入計画の認定を目標とする。

※出雲力：「神話のふるさと」や「人と人とのつながり」等、出雲の持つあらゆる力

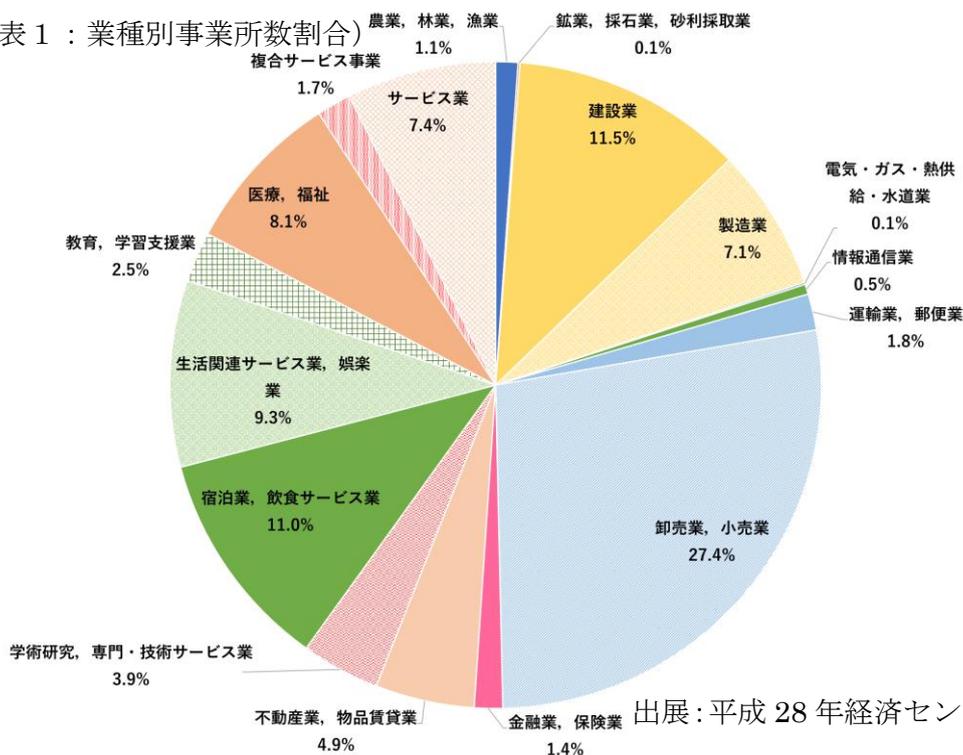
(3) 労働生産性に関する目標

先端設備等導入計画を認定した事業者の労働生産性（中小企業等の経営の強化に関する基本方針に定めるものをいう。）が年率3%以上向上することを目標とします。

2 先端設備等の種類

本市の産業は、卸売業・小売業、建設業、製造業、サービス業等と多岐に渡り、多様な業種が本市の経済、雇用を支えているため、これらの産業で広く事業者の生産性向上を実現する必要があります。したがって、多様な産業の多様な設備投資を支援する観点から、本計画において対象とする設備等は、中小企業等経営強化法施行規則第7条第1項に定める先端設備等全てとします。

(図表1：業種別事業所数割合)



出展：平成28年経済センサス加工による

3 先端設備等の導入の促進の内容に関する事項

(1) 対象地域

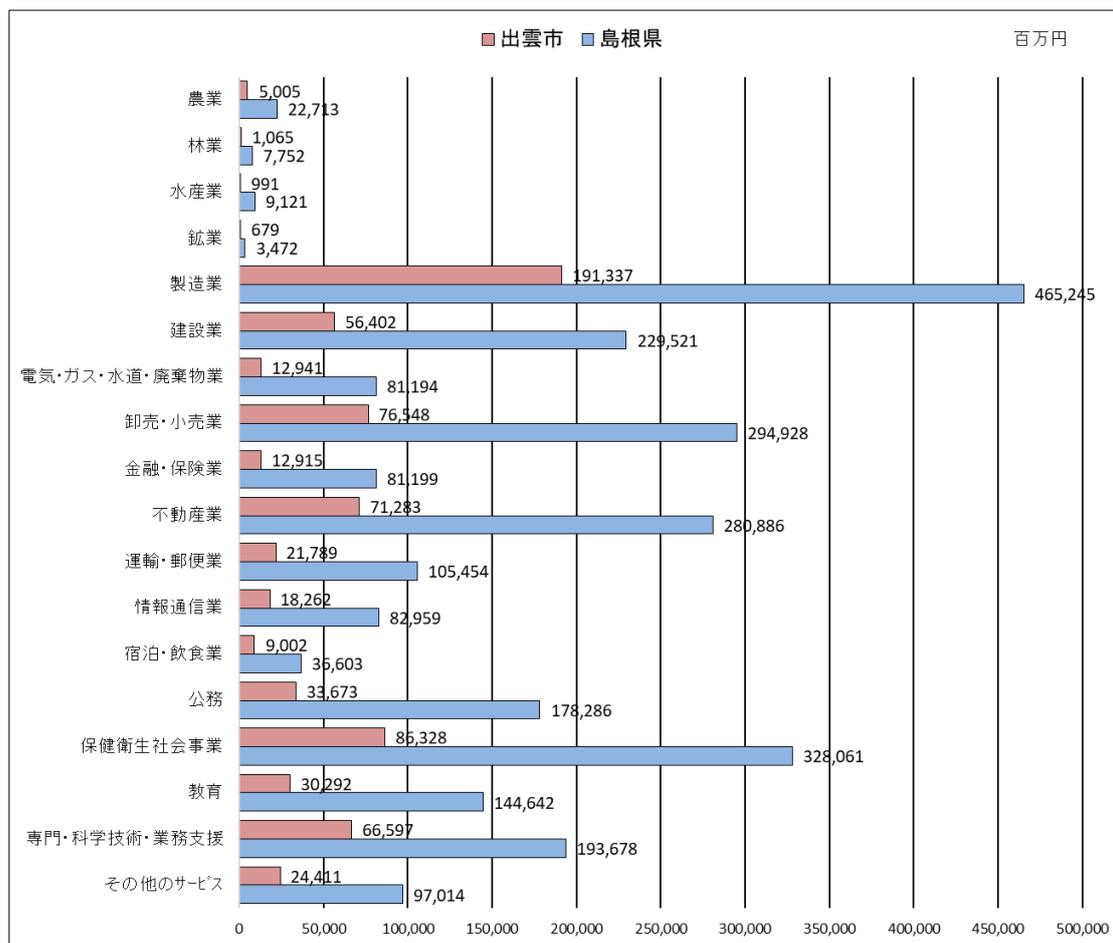
本市の産業は、出雲平野部を中心として広域に立地しています。これらの地域で、広く事業者の生産性向上を実現する観点から、本計画の対象区域は、市内全域とします。

(2) 対象業種・事業

本市の産業は、卸売業・小売業、建設業、製造業、サービス業等と多岐に渡り多様な業種が本市の経済、雇用を支えているため、これらの産業で広く事業者の生産性向上を実現する必要があります。したがって、本計画において対象とする業種は、全業種とします。

なお、生産性向上に向けた事業者の取組は、新商品の開発、自動化の推進、IT導入による業務効率化、省エネの推進等、多様です。したがって、本計画においては、労働生産性が年率3%以上に資すると見込まれる事業であれば、幅広い事業を対象とします。

(図表 2 産業区分別総生産)



出展：島根県統計情報データベース 令和3年度島根県市町村民経済計算

4 計画期間

(1) 導入促進基本計画の計画期間

国が同意した日から2年間(令和7年4月1日～令和9年3月31日)とします。

(2) 先端設備等導入計画の計画期間

3年間、4年間、5年間とします。

5 先端設備等の導入の促進に当たって配慮すべき事項

- ① 人員削減を目的とした取組を先端設備等導入計画の認定の対象としない等、雇用の安定に配慮します。
- ② 公序良俗に反する取組や、反社会的勢力との関係が認められるものについては先端設備等導入計画の認定の対象としない等、健全な地域経済の発展に配慮します。